

ふるさとを愛し、ふるさを誇りに思う子どもの育成

★ 放課後あそび隊 ★

一中校区では、中学生が校区の石見小、三階小、松原小へ出向き、遊びを工夫しながら地域の子どもたちと交流しました。石見公民館の地域コーディネーターを中心に長年取り組まれています。

中学校1年生は総合的な学習の時間の活動の一環として取り組まれ、また、部活動のない月曜日を中心に、ボランティア活動としても取り組まれています。
(ボランティア参加生徒 今年度1月末時点 延べ121名)



★ 小中合同地域別奉仕活動 ★

旭中学校区では、一昨年度まで別々に実施していた夏休みの奉仕作業を、昨年度より小中合同の活動としました。

各地域に分かれ、ごみ拾いや草取りなどの作業を行いました。1学期の内に、小学校6年生が中学校を訪ね、一緒に計画を立てました。(今年度は台風により中止になりました。下の写真は、昨年度の様子です。)



★ 教職員による地域めぐり ★

弥栄小中一貫教育の夏季研修会の一環として、弥栄町内でフィールドワークを行いました。地域の方に案内していただき、弥栄の史跡等を巡りました。「ふるさと弥栄」に対する教職員の理解を深め、ふるさと教育を進めていく上の一助としました。

＜ 支所前の矢懸城址の説明 ＞



成果

中学校区ごとに小中9年間を見通したふるさと教育全体計画を作成し、各学校でふるさと教育が積極的に行われています。公民館等、地域との連携、協力がふるさと教育を進める上で欠かせませんでした。

課題

少子高齢化の進行により、地域社会全体の活力低下が懸念される中、地域の「ひと・もの・こと」といった教育資源を活用し、ふるさとに対する愛着と誇りの醸成は、一層重要になります。9年間を見通した教育全体計画を見直していくなど、ふるさと学習の充実を図っていく必要があります。

保護者・地域の方も参加した活動 (小中一貫教育の一環として)

★ 夏の夕べを親子で楽しむ会 ★

浜田東中学校区では、地域ぐるみの「子育ての場」として、小学校・中学校の連携を基盤に、PTAや地域の協力、そして県PTA連合会の支援を受けながら、「ものづくり体験」「食事タイム」「吹奏楽部定期演奏会」などを通して絆づくりに取り組みました。今年度で14回目を迎え、11月8日には日本PTA中国ブロック島根県・出雲大会において実践発表を行いました。

＜ ものづくり体験 ＞



＜ 食事タイム ＞



＜ 吹奏楽部定期演奏会 ＞



＜ 日本PTA中国ブロック 実践発表 ＞



★ 小中一貫教育講演会 ★

弥栄中学校区では、保護者、地域の方にも参加していただいた研修会を開催しました。

講師の杉田先生は、広島県を中心に小中学校の一貫教育や学力向上対策に関わっておられ、学校づくりや授業改善へのアドバイザーとして活躍されています。杉田先生にはH25年度から継続して3年間弥栄中ブロックの取組を評価していただき、次年度に向けてのアドバイスを得てきました。今年は中学校での授業、小学校での全学級の授業参観をしていただきました。そして午後には各部会の実践報告を聞いていただき、授業や授業参観も含めて評価をしていただきました。実践報告に続いて、杉田郁代先生に講演をしていただきました。



講師:高知大学教育創造センター准教授 杉田郁代先生
演題:「小中一校ずつの小規模校の特色を生かした小中一貫教育について」
～学力向上と豊かな人間関係づく

＊来年度から名称が変わる予定です。

浜田市小中一貫教育 → 浜田市小中連携教育

学校教育法の一部改正により、小中9年間の教育を一貫して行う新しい校種として、「義務教育学校」の設置が可能となりました。浜田市は、「義務教育学校」が設置されていません。浜田市小中一貫教育を義務教育学校による教育と区別するためです。取組内容は、これまでどおりです。

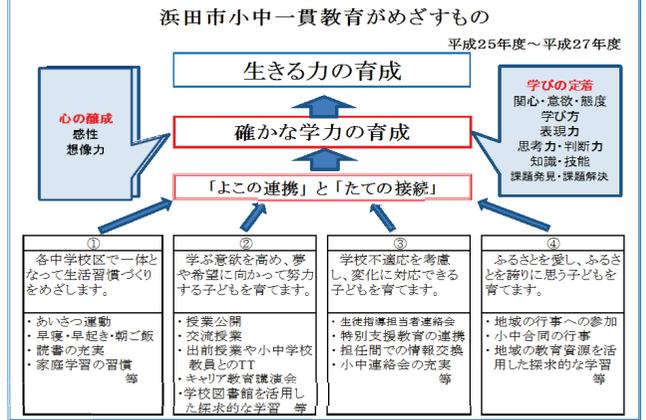
平成27年度

浜田市小中一貫教育 実践の概要

《浜田市小中一貫教育基本方針》

1 めざす子ども像(浜田市教育振興計画「はまだっ子プラン」)

- きまりを守り、生活リズムを正し、たくましく生きぬく子
- 感性豊かで他を思いやり、人とのつながりを大切に子
- 夢や希望にあふれ、学ぶ意欲をもち、ふるさとを愛する子



平成25～27年度の実施の見通しについて

平成25年度

※学力向上について、具体的にどのように取り組むのかについて、各中学校区の実態に応じて考え、共通理解が図られた段階で、取組を始める。
※中学校区ごとに、小中一貫教育の取組を保護者・地域に公開する。
※取組の反省をし、次年度に生かす。

平成26年度

前年度の取組の反省を基に、実践の充実を図る。
小中一貫教育の中で浜田市全体として統一した取組として、図書館を活用した教育の推進に各中学校区の実態に応じて取り組む。
中学校区で小中9年間を見通したふるさと教育の活動及びそのねらいを見直し、中学校区のふるさと教育全体計画の作成に取り組む。
※取組の反省をし、次年度に生かす。

平成27年度

前年度の取組の反省をし、実践をするとともに、3年間の取組の成果の検証をする。成果は、教師の主観ではなく、客観的評価ができる内容が良い。

浜田市では、平成22年度に「浜田市小中一貫教育基本方針」を策定し、翌年から、市内9つの中学校区ごとに小中一貫教育に取り組んでいます。浜田市の小中一貫教育は『小中連携を意識的に強化したもの』としており、いわゆる小中連携教育として取り組んでまいりました。小中一貫教育に取り組むことにより、浜田市教育振興計画「はまだっ子プラン」に示した子ども像をめざしております。

小中一貫教育を3年一区切りとして、平成25年度から新たな3年をスタートさせました。今年度は、1年間の取組とともに3年間の取組の振り返りを行いました。

紙面の関係で、9つの中学校区全ての活動を網羅することはできませんが、小中一貫教育の取組の一部を紹介します。

保護者の皆様にご覧いただき、浜田市小中一貫教育の各中学校区の取組をご理解いただければと考えています。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく願います。

浜田市教育委員会 教育長 石本 一夫